

グローバル全生物ゲノム株式ファンド (年2回決算型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第11期（決算日2025年12月8日）

作成対象期間（2025年6月10日～2025年12月8日）

第11期末（2025年12月8日）	
基準価額	6,581円
純資産総額	3,565百万円
第11期	
騰落率	43.5%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド（年2回決算型）」は、2025年12月8日に第11期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<645014>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

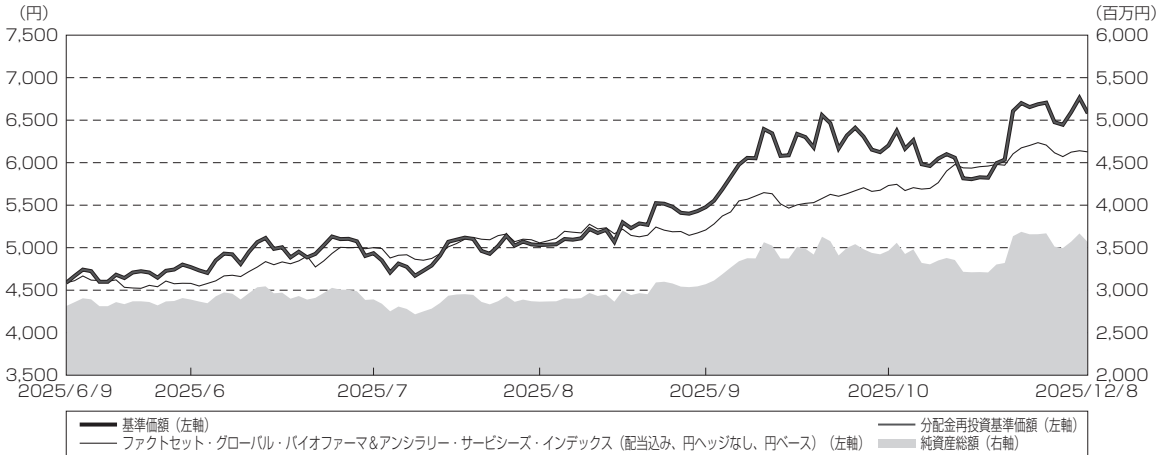
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年6月10日～2025年12月8日)



期 首 : 4,587円
 期 末 : 6,581円 (既払分配金(税込み) : 0円)
 騰 落 率 : 43.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービシズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、期首(2025年6月9日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービシズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能(AI)や半導体への期待を背景に、主要株式市場が好調に推移したこと。
- ・AI、ゲノミクス(ゲノムと遺伝子について研究する生命科学の一分野)、遺伝子編集、マルチオミクス(生体内の機能を担うさまざまな物質について、総合的・網羅的に研究する学問分野)解析と

いった先端技術分野で進展が見られたこと。

- ・一部企業がファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）面で良好な成果を示したこと。
- ・成長志向の政策や金利の緩和などの構造的な追い風が市場環境を下支えしたこと。

<値下がり要因>

- ・ネガティブな臨床試験結果が発表されたこと。
- ・株式市場におけるボラティリティ（価格変動性）が高まったこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年6月10日～2025年12月8日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 50	% 0.900	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(26)	(0.466)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(23)	(0.411)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.040	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.040)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.060	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(2)	(0.039)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合計	55	1.001	
期中の平均基準価額は、5,517円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

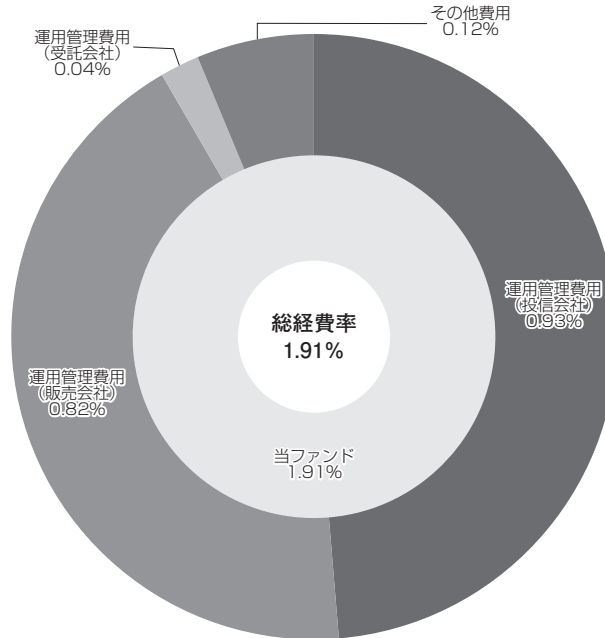
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

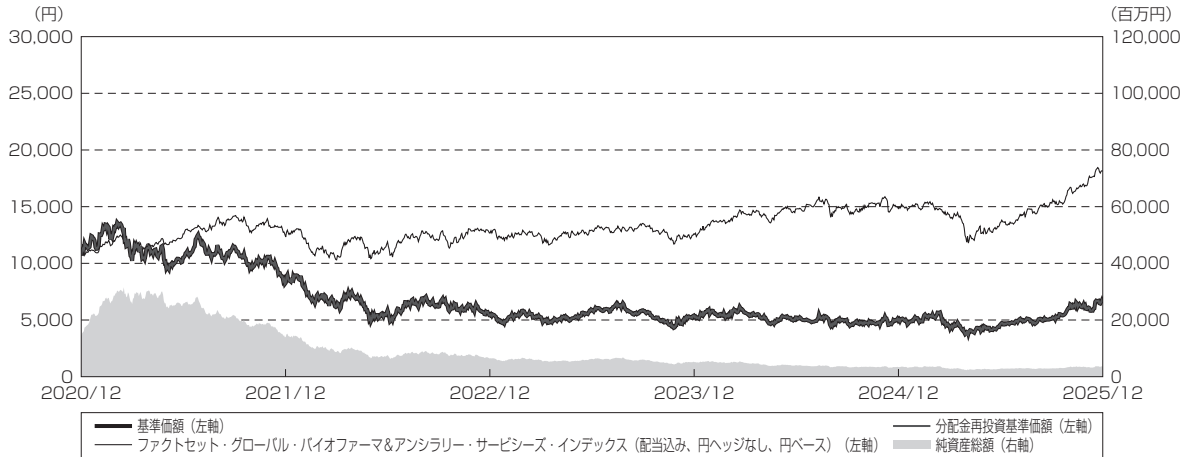
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年12月7日～2025年12月8日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・バイオフार्マ&アンシラリー・サービシーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、2020年12月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年12月7日 決算日	2021年12月7日 決算日	2022年12月7日 決算日	2023年12月7日 決算日	2024年12月9日 決算日	2025年12月8日 決算日
基準価額 (円)	10,707	8,274	5,411	5,307	5,059	6,581
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△22.7	△34.6	△1.9	△4.7	30.1
ファクトセット・グローバル・バイ オフार्マ&アンシラリー・サービ シーズ・インデックス(配当込み、 円ヘッジなし、円ベース)騰落率 (%)	—	15.1	2.9	△0.1	18.5	20.8
純資産総額 (百万円)	14,264	14,032	6,465	5,151	3,505	3,565

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) ファクトセット・グローバル・バイオフार्マ&アンシラリー・サービシーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2025年6月10日～2025年12月8日)

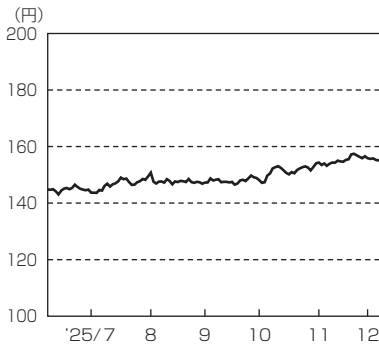
(株式市況)

世界の主要株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。複数の貿易関税の停止・交渉の進展が好感されました。米国連邦準備制度理事会（FRB）は、2025年9月と10月の米国連邦公開市場委員会（FOMC）で段階的な金融緩和サイクルを再開しました。暗号資産価格の推移は不安定で、10月に史上最高値を更新した後は売り圧力に押されました。

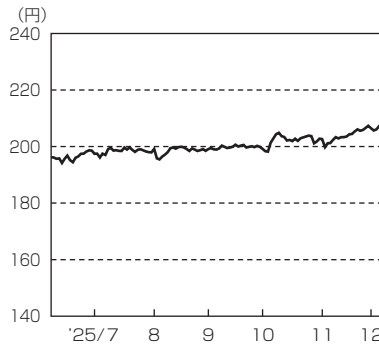
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

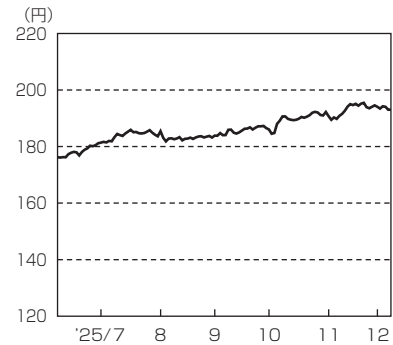
円／アメリカドルの推移



円／イギリスポンドの推移



円／スイスフランの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月10日～2025年12月8日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド)

期間中の主な投資行動としては、希少疾患や難治性小児疾患向けの全ゲノム／エクソーム配列解析（WGS／WES）において市場をリードする地位を確立しているジーンDxホールディングス（ヘルスケア機器・サービス）を新規に組み入れました。強みとなっているデータ面の優位性がますます強化されていること、新しい臨床ガイドラインを追い風として当面の大幅な市場拡大が見込まれること、WGSを小児科医療の標準療法にしていくという明確な長期ビジョンを掲げていることなどを根拠に、当ファンドでは高い確信を持っています。最近、米国小児科学会が小児神経発達症の第一選択検査法としてWGS／WESを用いるように推奨したことは重要な転換点となっており、大規模な新市場への扉が開かれています。

一方、ToolGen（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）の保有を解消しました。初期段階のパイプラインにおけるリスクが高いこと、前臨床パイプラインの質や進捗状況が不透明であること、

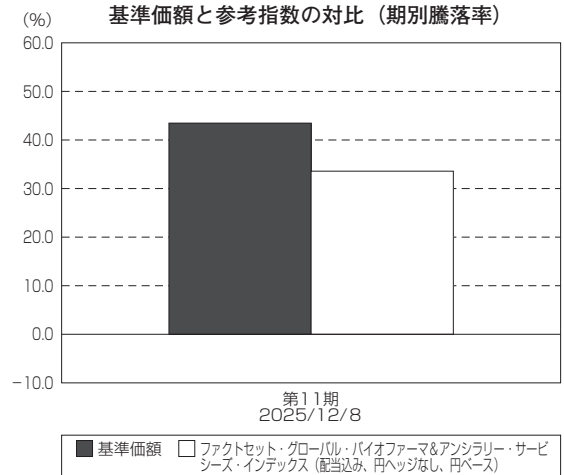
より確信度の高い投資機会が他に存在することが背景です。今後は、より強固な臨床実績、明確な規制対応、グローバルな事業展開の透明性を有するゲノム編集プラットフォームへの投資比重を高めていく方針です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年6月10日～2025年12月8日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービス・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2025年6月10日～2025年12月8日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第11期
	2025年6月10日 ～2025年12月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド)

技術革新の進歩や費用曲線の低下に関連したデフレ圧力が今後3～5年間に於いてゲノム企業・ゲノム関連企業の売上数量増加をもたらし、生産性、収益性を押し上げることになるかと予想しています。より重要なこととして、DNAシーケンシング（DNA（＝核酸）を構成する塩基の配列を決定すること）やゲノム編集等に関連する技術的進歩によって科学的発見のペースが加速することで、病気の症状だけを抑えるという治療ではなく、患者一人ひとりの病気を根治する個別化医療の時代の到来が予想されます。細胞療法の革新と他家由来細胞の活用が組み合わせることで、細胞療法の市場規模がさらに1,500億アメリカドル拡大する可能性があり、癌の遺伝子療法の総市場規模は約20倍に増加し、2,600億アメリカドルを超えると期待されます。そうした治療法のブレークスルー（大躍進）を受けて、シーケンシングに対する需要の拡大が加速すると思われ、シーケンシングは通常の医療の一部になると考えられます。また、これらの技術はヘルスケアの分野を超えて拡大してきています。例えば、2025年までCRISPR技術（ゲノム編集技術の1つ）は農業畜産水産物市場を推定でおよそ1,700億アメリカドル拡大させる可能性があり、世界の人口増加が予想されるなかで食料供給を支えるとみられています。人為的要因による土壌汚染や海洋汚染をゲノム技術の活用によって低減させ、それによって持続可能な作物の栽培や水産物の養殖が可能になるとみられます。当ファンドでは、DNAシーケンシングやゲノム編集、AI技術等の融合を活かし、世界経済においてあらゆる産業に影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2025年6月10日から2025年12月8日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

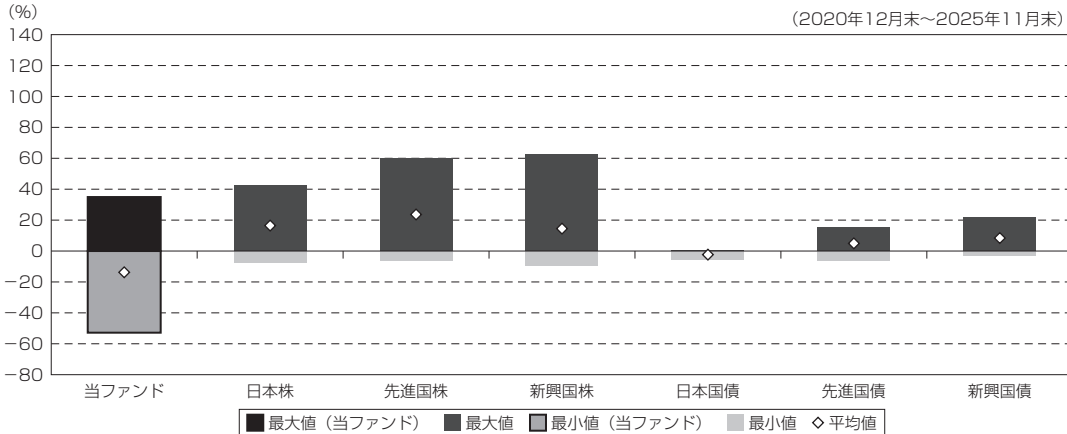
- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第16条)
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第59条)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年9月10日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル全生物ゲノム株式ファンド (年2回決算型)	「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、ゲノム技術に関連するビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.9	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△52.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△5.5	△ 6.1	△ 2.7
平均値	△13.8	16.5	23.6	14.5	△2.3	4.9	8.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年12月から2025年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年9月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(各資産クラスの指数)

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）

ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界のバイオ医薬品の開発、研究、製造、ソフトウェア技術等を手掛ける企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、アモヴァ・アセットマネジメントが円換算したものです。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象とした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年12月8日現在)

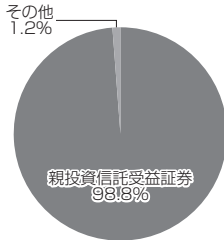
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	98.8%
組入銘柄数	1銘柄

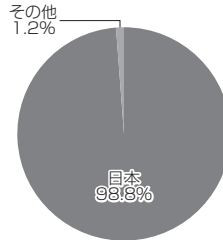
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

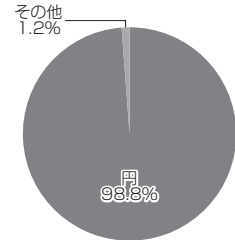
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第11期末
	2025年12月8日
純資産総額	3,565,598,069円
受益権総口数	5,417,712,204口
1万口当たり基準価額	6,581円

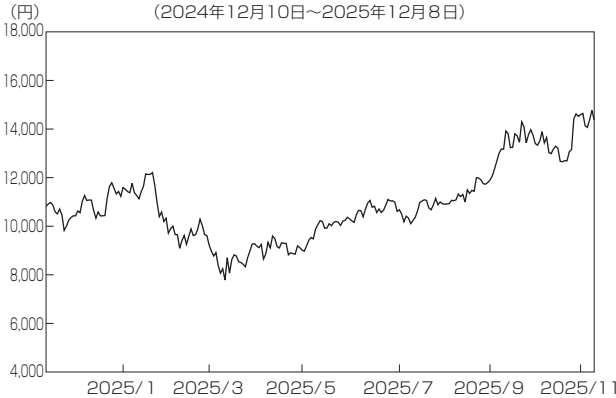
(注) 期中における追加設定元本額は209,966,878円、同解約元本額は926,327,203円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年12月10日～2025年12月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年12月10日～2025年12月8日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	9 (9)	0.082 (0.082)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.035 (0.035)
合計	13	0.119

期中の平均基準価額は、10,972円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年12月8日現在)

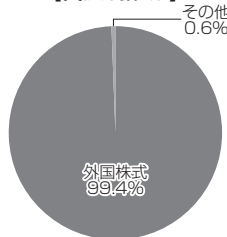
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	TEMPUS AI INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	9.4
2	NATERA INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	6.5
3	GUARDANT HEALTH INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	6.3
4	CRISPR THERAPEUTICS AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	スイス	5.5
5	ILLUMINA INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	5.1
6	IONIS PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.9
7	VERACYTE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.6
8	ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.0
9	TOX GENOMICS INC-CLASS A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.0
10	BEAM THERAPEUTICS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.8
組入銘柄数			42銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

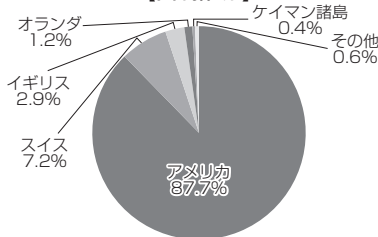
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

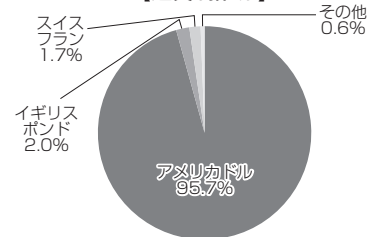
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル全生物ゲノム株式ファンド (年2回決算型)

【貸借対照表】

(単位：円)

	第10期 2025年6月9日現在	第11期 2025年12月8日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	53,692,355	77,007,072
親投資信託受益証券	2,795,085,317	3,523,414,003
未収入金	—	10,739,820
未取利息	716	1,030
流動資産合計	2,848,778,388	3,611,161,925
資産合計	2,848,778,388	3,611,161,925
負債の部		
流動負債		
未払解約金	6,425,624	15,056,317
未払受託者報酬	665,206	682,472
未払委託者報酬	26,610,615	27,301,340
その他未払費用	1,293,668	2,523,727
流動負債合計	34,995,113	45,563,856
負債合計	34,995,113	45,563,856
純資産の部		
元本等		
元本	6,134,072,529	5,417,712,204
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△3,320,289,254	△1,852,114,135
(分配準備積立金)	2,361,350	8,529,319
元本等合計	2,813,783,275	3,565,598,069
純資産合計	2,813,783,275	3,565,598,069
負債純資産合計	2,848,778,388	3,611,161,925

【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第10期		第11期	
	自	2024年12月10日	自	2025年6月10日
	至	2025年6月9日	至	2025年12月8日
営業収益				
受取利息		102,564		109,951
有価証券売買等損益		△272,248,442		1,160,419,950
営業収益合計		△272,145,878		1,160,529,901
営業費用				
受託者報酬		665,206		682,472
委託者報酬		26,610,615		27,301,340
その他費用		1,293,668		1,296,527
営業費用合計		28,569,489		29,280,339
営業利益又は営業損失 (△)		△300,715,367		1,131,249,562
経常利益又は経常損失 (△)		△300,715,367		1,131,249,562
当期純利益又は当期純損失 (△)		△300,715,367		1,131,249,562
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)		△17,097,675		80,759,314
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		△3,423,302,735		△3,320,289,254
剰余金増加額又は欠損金減少額		584,486,346		500,259,658
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		584,486,346		500,259,658
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—		—
剰余金減少額又は欠損金増加額		197,855,173		82,574,787
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—		—
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		197,855,173		82,574,787
分配金		—		—
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△3,320,289,254		△1,852,114,135